

やま

くぐつね山の 不思議な夏

ふしぎ

なつ

原作／斉藤洋 絵／森田みちよ 「遠く不思議な夏」(偕成社館)より



その夏、
たくさんの
ぼくは母のふるさとで
「ふしぎ」と出会った...


2019年 **9月23日** (月・祝) **浜北文化センター** 小ホール<全席自由>

開演16:30 開場16:00 料金/前売1,200円 当日1,400円 (4歳以上有料)

チケット
取り扱い

・浜北文化センター ・アクトシティチケットセンター (窓口販売のみ10:00~19:00)

・浜松子ども劇場TEL053-473-5880 (火・金・月末の土10:00~14:00)

・  pia.jp/t (Pコード: 496191) セブンイレブン・チケットぴあ店舗
0570-02-9999

<電話予約・お問合せ> 劇団たんぽぽ TEL053-461-5395

主催/(公社)教育演劇研究協会 助成/(公財)浜松市文化振興財団

後援/静岡県、浜松市、浜松市教育委員会、磐田市教育委員会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送

 公益社団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation
文化団体
活動支援
助成金

原作／齊藤洋 絵／森田みちよ『遠く不思議な夏』（偕成社刊）より

くぐつね山の 不思議な夏

脚色／松下哲子 演出／ふじたあさや
音楽／川崎絵都夫 美術・衣装／池田ともゆき 振付／酒井麻也子
照明／坂本義美 音響／山北史郎
制作／上保節子

小学4年生の夏休み、おじいちゃんの家があるくぐつね山で過ごすこと
になったぼく。

東京から列車で2時間、そこからバスで1時間。

バス停で僕を待っていたのは、「きつつあん」というおじさんだった。

きつつあんは、ぼくをリヤカーに乗せ、おじいちゃん家まで連れていく。

「おめえ、いくつになった」

「10歳。」

「じゃあ、まだ見えるかもしれねえな。」

「何が見えるの？」

「さあな。」

謎のおじさん「きつつあん」と、話好きなおじいちゃん。

キツネに化かされたり、お地蔵様が魚を釣ったり、それ、ほんと？

あずきあらいに神隠し。それって作り話？

そして、ある時できた、友だちのテルジ。

自分のことは、誰にも言うなって、テルジって何者？

これは、ぼくが経験した『くぐつね山の不思議な夏』のおはなし。

演出者の言葉

ふじた あさや

昔、この国には、さまざまな不思議がありました。キツネに化かされた人もいっぱいいましたし、人魂を見たという話も、数多くありました。そんなもの、あるはずはない。あると思うなら、科学的に証明しろ——と、学校では教えるようになりましたし、幽霊の話なんかしようものなら、「迷信を信じるのか」と馬鹿にされるようになりました。

そうです。そんなもの、あるはずはありません。ありませんが、しかし、「ない」と言い切ってしまったとき、私たちは、何か大切なものを忘れてしまったのではないか？人が人であり、ここが日本であるために必要な、何か大切なものを——。

しみじみとそんな気にさせてくれる、一冊の本に出会いました。それが齊藤洋さんの『遠く不思議な夏』です。日本では育ちにくい〈ファンタジー〉はここから育つのかな、と思わせる素晴らしさです。

さあ、一緒に舞台を通じて、『遠く不思議な夏』を体験しませんか？

●会場／浜北文化センター
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL053-586-5151

(公演のお問い合わせは会場に電話しないで下さい。)

- ・東名高速道路 浜松・浜松西ICから約20分。
- ・新東名浜北ICから約15分。
- ・遠州鉄道浜北駅から徒歩5分。



公益社団法人 教育演劇研究協会



劇団 たんぽぽ

〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3

☎053-461-5395 FAX053-461-6378

http://www.gekidan-tanpopo.com/